

平成30年7月10日

サイバーセキュリティ関連情報（7月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ 京都府などの5自治体のウェブサイトで約7500人分情報漏えいの可能性

鳥取県は6月26日、県が民間企業に委託し開設しているウェブサイト「環境家計簿『我が家のエコ録』」がサイバー攻撃を受け、利用者436人の氏名やメールアドレスなどが漏えいした可能性があるとして発表した。

6月25日に都内のITセキュリティー会社から通報があり、委託先の京都市のシステム会社に確認したところ、外部からデータベースを不正操作する「SQLインジェクション」という手法で、同社が管理運営するサーバーが攻撃されていたことを確認した。

また、同社が管理する京都府、埼玉県、滋賀県、東京都小平市のウェブサイトでも同様に攻撃を受けており、約7500人の個人情報が漏洩した可能性があるとしている。

IPAがウェブサイト開発者や運営者が適切なセキュリティを考慮したウェブサイトを作成するための資料「安全なウェブサイトの作り方」を公開しているので参考として下さい。

参考 IPA（独立行政法人情報処理推進機構）ホームページ

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>



IPA 独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター

2018年3月

○ パスワード管理「定期的な変更は不要」と総務省が発表

これまでパスワードの定期的な変更を呼びかけてきた総務省は昨年秋、「定期的な変更は不要」と従来の見解を改めた。

その理由として、定期的な変更をすることでパスワードの作り方がパターン化し簡単なものになるとしており、定期的に変更するよりも、機器やサービスの間で使いまわしのない、固有のパスワードを設定することが求められるとしている。

総務省は、ホームページ上で、パスワードの設定と管理のあり方について、

- ① 安全なパスワードの設定
- ② パスワードの保管方法
- ③ パスワードを複数のサービスで使い回さない（定期的な変更は不要）

の3つの要素を掲げ、アカウントを不正に利用されないための注意喚起を行っている。

パスワードは、名前、生年月日、電話番号など他人から類推されやすいものを避け、他人の目に触れるような場所に貼ったりしないことなどの基本事項を徹底して下さい。

参考 総務省ホームページ

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/basic/privacy/O1-2.html